

◎ 体育部門

1 行事及び内容

(1) 研究委員会

①第1回体育部門研究委員会（6月8日 天草教育会館）

○事業計画

○平成30年度研究主題について説明及び小中共通実践事項の確認

<小中共通実践事項>

ア 基礎的な技能や知識の定着を図り、活用させるための工夫

- ・基礎的な知識・技能の定着を図り、生徒の意欲喚起を図るためのドリルゲームの開発

- ・身につけた技能をゲームで活用できるようにするためのタスクゲームの開発

イ 伝え合う力を高め、体育学習に生かすための工夫

- ・話し合い活動を充実させるための工夫
- ・学習カードや作戦ボードの有効活用

※ 本年度については、熊本県中学校保健体育研究発表大会（天草大会）に向けて、中体研での研究主題と研究内容に沿って、研究を推進する。

※ 来年度は、体育が苦手な先生の授業が充実するような、内容の研究が必要。

○平成30年度 天草教育研究所体育部門授業研修会にむけて

- ・熊本県中学校保健体育研究発表大会（天草大会）に向けての事前研究と位置づけて、10月17日に授業研究会を実施する。

○その他

②第2回体育部門研究委員会（8月27日 天草教育会館）

○平成30年度 天草教育研究所体育部門授業研究について

- ・大会当日の日程及び役割分担についての話し合い

③平成30年度 天草郡市小中学校体育授業研究会（10月17日 天草市立稜南中学校）

(2) 事業内容（天草郡市小中学校体育授業研究会の内容：10月17日）

○開会行事

○研究授業 授業者 天草市立稜南中学校 梅北 勇樹 教諭 領域・単元 球技「バドミントン」

○授業研究会 助言者 天草市立牛深中学校 黒川 雅弘 教頭

○閉会行事

2 成果と課題

県中体研発表大会に向けての研究主題「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健体育学習の在り方を目指して」として、その事前研究会として実施した。

豊かなスポーツライフを実現する観点から、運動の楽しさや喜びを味わい、運動やスポーツがもつ価値を理解させ、生涯にわたって運動に親しみ、継続することに繋がる研究と授業内容であった。

子ども達が運動に向かい、継続するための心的エネルギーとして「運動をやりたい、続けたい」という内発的動機づけが運動有能感を高めるとの考えから、それに向けての多くの工夫があり、参加者から「今後の授業の参考になる」という好評を得た。

運動が嫌いであり苦手である生徒、運動が好きだけど技術的に劣る生徒等をビブスの色と番号で分かるようにし、果たして授業の中でどのように取りくんでいるか、意欲的に活動しているか、その手立てはどうであるか等について、深く協議することができたことは、大きな成果である。

「教えあい、助け合い、話し合い」は、仲間とともに楽しむ活動につながる。

その一方で、基本的技術の習得等の技術の高まりがないと、その種目本来の質の高い喜びを感じることができない。仲間と楽しむことと技術習得のバランスをどうとるかが、今後の課題である。